

大切な水

芹 澤 樹 季

基山町立基山小学校

今までわたしは、使った水は大きいゴミをとった後、そのまま川や海に流されていると思っていました。けれども、それはまちがいでした。わたしたちが水を飲むまでにたくさんの人達が関わり、色々な工夫をされてきれいになっている事を知りました。

今回聞いた話の中で一番おどろいたのは、下水の仕組みの中でびせいづつがよこれを食べできてきれいにするという仕組みがある事です。大きなきかいを使うと思っていたけれど、小さな生き物が水をきれいにしてくれていた事にとてもおどろきました。また、流入水と処理水をじつさいに見せてもらい、流入水のきたなさにわたしたち人間はこんなにも水をよごしてしまっているのかと、とてもショックを受けました。そして、処理水を見せてもらい、それをまた人間の力と、びせいづつの力でこんなにもきれいにしてくれているのかと、おどろかされました。もし、下水が日本になかったら、アフリカみたいに赤痢などの病気にもなってしまうし、一度使った水は二度と使えなくなるので水ぶそくになります。水がないと食べ物もなくなるので、食料ぶそくにもなって、わたしたちは下水のない日本ではとてもくらしていけないと思いました。

そこで、まずは人間が水を大切にしていって、水をあまりよごさない事が一番大切だと考えました。そのためにわたしができる事は、歯みがき

をしている時、シャワーをしている時に、水を出しっぱなしにはしない事。他にもトイレトペーパーいがいはトイレに流さずに、油やゴミも下水に流さないことが大切だと思います。また、それを家族や友達に伝える事がわたしにできる事だと思います。そして、水がこんなにも大切だと気がついた事が本当に良かったなと思います。下水処理をしてくれている方々にかんしゃして、少しでも水を大切にしていきたいと思います。